

妻ヶ丘中学校だより

令和6年6月17日 校長 深江 祐史

I 都城地区中学校総合体育大会お疲れさまでした。

5月30日(水)の水泳競技を皮切りに6月11日(火)の軟式野球・サッカー競技まで、競技によっては雨天順延もありましたが、多くの3年生にとっては最後の大会となる都城地区総合体育大会が終了しました。

私も妻ヶ丘中の校長として、可能な限り会場に出向いて応援させていただきました。水泳競技では、メルヘンスポーツを会場として選手の必死の泳ぎがありました。陸上競技は、西諸県地区との合同開催で、小林市陸上競技場でとても暑い中での競技となりました。特に水泳と陸上の長距離の選手は本当に見ている方がきつくなるような頑張りでした。尊敬します。バスケットボール競技では、見事なスリーポイントシュートやリバウンド争い、最後まで走り続ける懸命の姿がありました。8日の週は、私は軟式野球競技の会長職の為、あまり動けませんでした。バレーボール競技では男女とも大熱戦。デュースまでもつれたり、大逆転でセットを奪うなど熱い戦いが繰り広げられました。ソフトテニス競技では、ポイントごとにペアで声を掛け合い、長いラリーの競り合いを制する試合もありました。軟式野球競技は、見事な打線のつながりで相手を圧倒する試合もありました。そしてサッカーは、延長含め0-0、最後のPK戦は、最初にリードを奪われる展開でしたが、最後に逆転するドラマチックな勝利もありました。

雨天順延やプログラムの関係で、いくつかの競技は応援することができましたが、それでも担当会場を開けるわけにはいかず、全競技の応援はできませんでした。直接、応援に行けなかった競技の皆さん申し訳ありませんでした。しかし、各顧問の先生から皆さんの頑張りの報告を受けています。

特に今回感じたことは、どの会場に行っても妻ヶ丘中の生徒の応援があったことです。(もちろん土日ですが)応援してくれた生徒の皆さん、熱い声援本当にありがとうございました。友達の必死の姿は、見ていて感動しますよね。

残念ながら、今回、十分に力を発揮できなかった…本当に悔しい思いをした人もいると思います。すぐには難しいでしょうが、自分は部活動で何を学んだのか?じっくり振り返ってみるとよいと思います。部活動をしなければ、みんながいなければ…得られなかったもの、学べなかったこともあるのではないのでしょうか。結果に関わらず、この経験をぜひ次のステップに生かしてほしいと心より願っています。皆さん、本当にお疲れさまでした。

※結果の概要につきましては、[学校HP【メニュー・部活動】](#)に記載してあります。

なお、本校からは、7月6日(土)～26日(金)に開催される第75回宮崎県中学校総合体育大会に142名の生徒が参加します。他校と比較すると随分多いと思いますが、いろんな競技で敗れたチームの選手が涙を流していた姿を見ました。県大会に出場する皆さんは、地区代表として、そういう

悔しい思いをした選手の分まで、頑張ってください。

また、本校には部活動ではないけれど、学校外活動としてクラブチーム等で様々な活動をしている生徒もいます。これから試合が続くと思いますが、精一杯頑張ってください。そしていよいよ吹奏楽部の番ですね。コンクールの演奏日時【7/15(月)10時28分～10時40分】も決まったようです。自分たちの音楽を大ホールでしっかり表現できるよう頑張ってください。たくさんの方が応援しています。

2 令和6年度第1回学校運営協議会が開催されました

6月13日(木)の午後、本校において第1回妻ヶ丘中学校学校運営協議会が開催されました。本市の小・中学校は全てコミュニティ・スクールであり、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって学校の課題解決や特色ある学校づくりを進めています。



協議の中では、各委員から以下のような意見や感想が出されました。

○生徒のあいさつが年々良くなっている印象

がある。また地域ボランティアにも積極的に参加してもらっている。

○昨年度の妻ヶ丘地区ふれあい祭りでは、3年生を中心に積極的な参加があり、大変盛り上げてもらった。今年もこどもまち協メンバーを中心にぜひ企画段階から携わってもらいたい。

○授業参観で、タブレットを持って生徒が席を離れて友達と学び合う姿、そこに先生も足を運んで指導する姿に明るい雰囲気を感じた。アクティブ・ラーニングが展開されていた。

○体育大会での生徒の一生懸命な姿を見て感動した。生徒からたくさんの元気をもらった。

●登下校のマナーについて気になる部分が多い。特に、朝の出勤時間と重なる時間帯では十分な注意が必要だ。自転車マナーはもちろん余裕を持った行動をするよう指導してもらいたい。

●小学校低学年でもスマホを所持する時代になった。悪用やトラブルも耳にするのでSNSに関する指導に力を入れてほしい。

また本年度見直した校則についての確認と今後の方向性について意見も頂きました。本年度も委員の皆様の見解をいただきながら、本校の教育活動を進めて参りたいと考えております。なお、本年度の委員の皆様は以下のとおりです。1年間どうぞ、よろしくお願いいたします。

- | |
|---|
| ・岩元 努 委員(妻ヶ丘地区まちづくり協議会教育文化部会長) <運営協議会委員長> |
| ・川添 康史 委員(前東町公民館長) <運営協議会副委員長> |
| ・二見 重弘 委員(妻ヶ丘地区自治公民館連絡協議会会長) |
| ・堀川 渉 委員(妻ヶ丘地区まちづくり協議会会長) |
| ・齊藤 卓治 委員(一万城南地区公民館長) ・川畑 洋子 委員(元PTA会長) |
| ・早川 純子 委員(南九州大学教授) ・川寄 俊一 委員(現PTA会長) |